

序

1. 本資料の調査依頼先は本邦及び滿洲國に於ける主要電氣製鋼工場、60箇所にして、工場推薦委員36名の盡力に依り、内33工場より資料の提供を得たり。
2. 回答を得たる電爐數は50基なりしも、爐の番號のみにて資料の記入なかりしものありたる故、整理の結果、爐番を附したるものは44基なり。
3. 調査事項に就いては、爐番を縦欄に、調査項目は横欄に配列して各項目毎に對照し易からしめたり。
4. 電爐は各型式毎に一括し、夫々平均出鋼量の順序に爐番を附する豫定なりしも、資料到着の關係上、稍々不同を生ぜり。追て訂正すべきものとす。
5. 會社名は最初の取決め通り公表せず。尙資料中型式名は記入せるも、製造者名は記入を避けたり。
6. 單位及び用語は能ふ限り統一し努めて簡潔とせり。將來用語の統一の緊要なる事を痛感せり。
7. 調査項目中、態々圖面を以て明示されたる報告ありたるも印刷の關係上遺憾ながら削除せり。
8. 資料の整理に意外の時日を費し期日切迫の爲め急遽初版を發行したる處其後多くの誤謬を發見したるに依り訂正第二版を發行せり。第二版に於ては期日締切後の訂正申込みに応じたるも尙資料の完璧及び正鵠を期する爲め其後の訂正申込みにより茲に第三版を上梓せり。本一括表に就き資料の訂正或は調査項目の追加等御氣付の點は今後も尙御通知を願ひ將來最も完全なるものを發行したし。
9. 工場各位の御盡力に依り茲に本邦最初の電氣爐調査表を作製し得たるは斯界の爲め慶賀の至りに堪へず、且此の種調査は外國に於ても例を見ざる處にして記して工場各位に深甚の謝意を表す。尙資料の整理、總括に就いては大同電氣製鋼所所員の盡力に俟つ處多し併せて謝意を表す。

昭和8年12月1日

日本鐵鋼協會第九回研究部會

準 備 委 員